

5-4 福岡地域

5-4-1 地域の概要

- 本市の北西部に位置し、地域内は用途地域と白地地域を有しています。
- 市街地の東側を南北方向に東北縦貫自動車道、国道4号が通り、市街地の南北方向の広域交通の軸を担っています。
- 地域の南側を東西方向に国道113号、国道457号、一般県道南蔵王白石線が通り、地域の東西方向の広域交通の軸を担っています。
- 東北縦貫自動車道の白石IC周辺に深谷工業団地をはじめとした工業地が集積しています。
- 地域内には、公立刈田総合病院、総合福祉センター、老人福祉施設を有しています。
- 地域の北西部に鎌先温泉郷があり、観光地となっています。
- 本地域の西側と東北縦貫自動車道沿道に集落地（福岡深谷地区、福岡八宮地区、福岡長袋地区、福岡蔵本地区）が点在しており、その周辺部には、優良農地が広がっています。

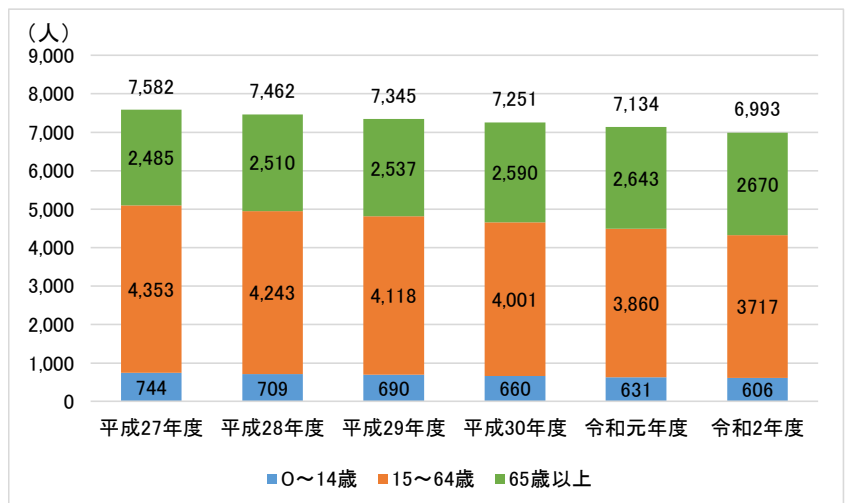
5-4-2 地域の現況と課題

(1) 現況

①人口

○地区内の人口は、平成27（2015）年度の7,582人以降減少傾向にあり、令和2（2020）年度では6,993人となっています。

○地区内の階級別の人口比率は、15～64歳は市全体とほぼ同じ比率です。また、65歳以上が占める割合は増加傾向ですが、令和2（2020）年度では38.2%と市全体の比率（36.1%）を約2.1ポイント上回っています。0～14歳が占める割合は減少傾向にあり、令和2（2020）年度では8.7%と市全体の比率（9.9%）を1.2ポイント下回っています。

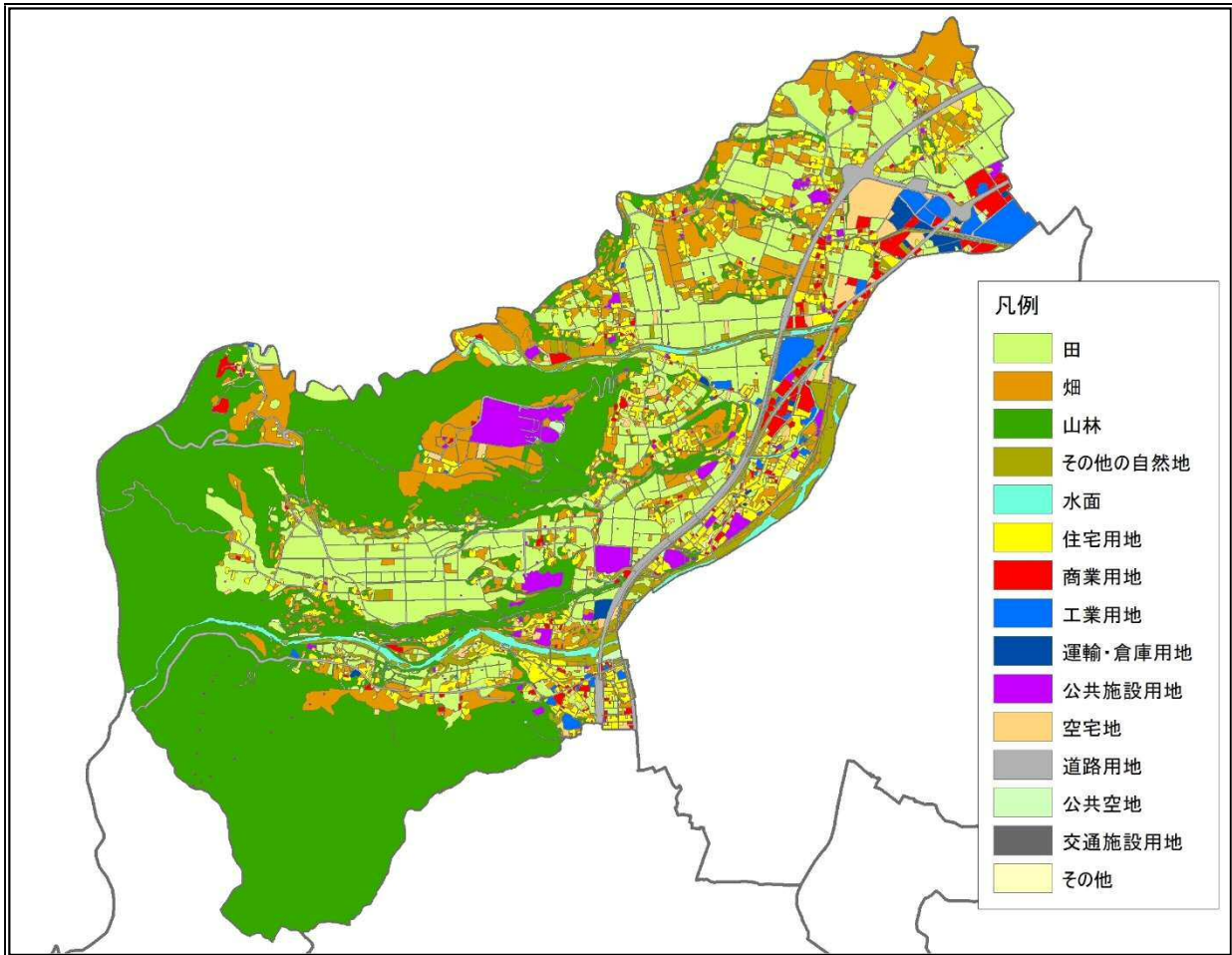


	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		市全体 (令和2年度)	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
0～14歳	744	9.8%	709	9.5%	690	9.4%	660	9.1%	631	8.8%	606	8.7%	3,267	9.9%
15～64歳	4,353	57.4%	4,243	56.9%	4,118	56.1%	4,001	55.2%	3,860	54.1%	3,717	53.2%	17,756	54.0%
65歳以上	2,485	32.8%	2,510	33.6%	2,537	34.5%	2,590	35.7%	2,643	37.0%	2,670	38.2%	11,866	36.1%
合計	7,582	100.0%	7,462	100.0%	7,345	100.0%	7,251	100.0%	7,134	100.0%	6,993	100.0%	32,889	100.0%

出典：住民基本台帳

②土地利用

- 自然的土地利用は、地域の78.5%を占めています。自然的土地利用では、山林が52.9%と最も多く占めており、地域の西部に多く分布しています。
- 都市的土地利用は、地域の21.5%を占めています。都市的土地利用では、住宅用地が30.6%で最も多く占めており、市街地内に多く分布しています。また、道路が32.3%を占め、他の地域と比べて高くなっています。



分類	自然的土地利用	都市的土地利用	合計
面積 (ha)	1711.4	468.8	2,180.2
比率 (%)	78.5	21.5	100.0

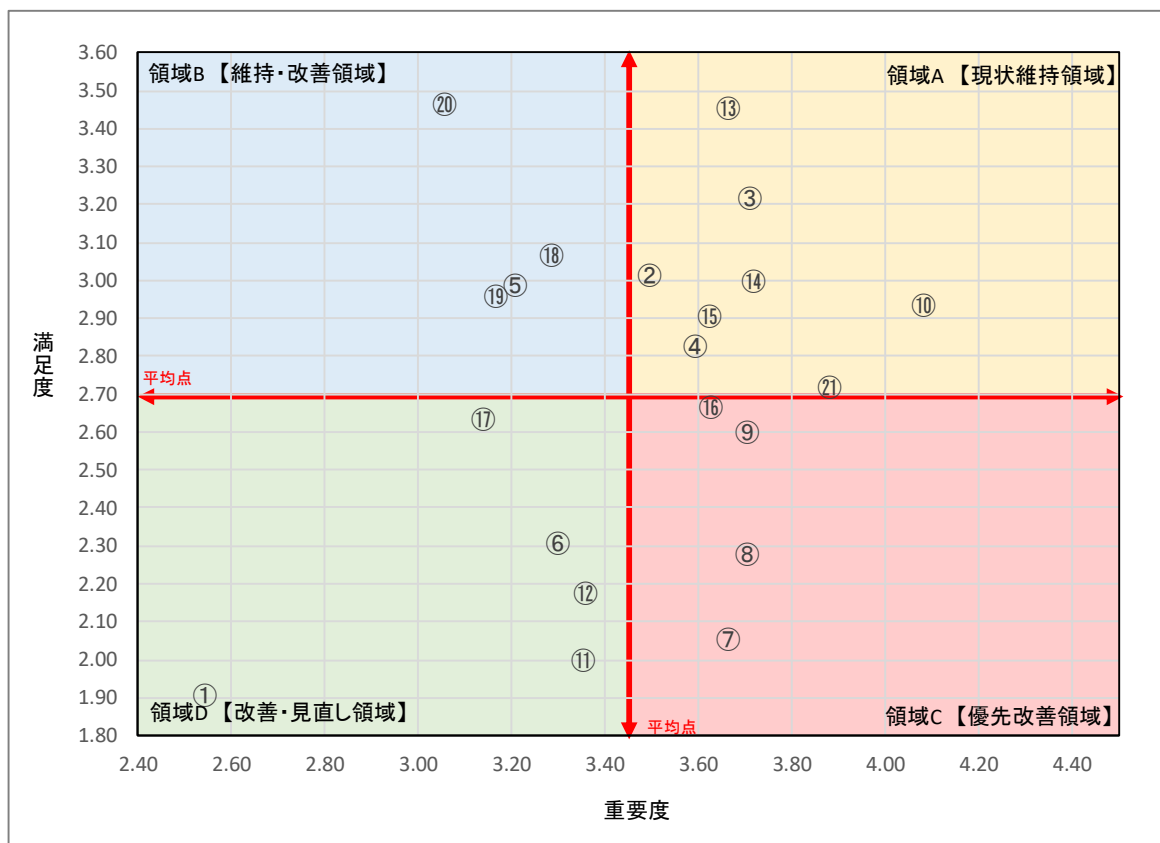
分類	自然的土地利用					合計
	田	畑	山林	その他 自然地	水面	
面積 (ha)	430.1	260.7	905.2	79.5	36.0	1,711.4
比率 (%)	25.1	15.2	52.9	4.6	2.1	100.0

分類	都市的土地利用												合計
	住宅用地	商業用地 (専用)	商業用地 (併用)	工業用地 (専用)	工業用地 (併用)	運輸・倉 庫用地	公共施設 用地	空宅地	道路	公共空地	交通施設 用地	その他	
面積 (ha)	143.6	33.0	8.5	28.1	2.4	9.6	48.0	39.6	151.4	3.5	0.0	1.2	468.8
比率 (%)	30.6	7.0	1.8	6.0	0.5	2.0	10.2	8.5	32.3	0.7	0.0	0.3	100.0

③市民意向（まちづくりアンケート調査結果）

まちづくりは、地区の課題となる満足度が低く、重要度が高い領域C【優先改善領域】には、「⑦働く場所としての工場・事務所の充実」「⑧娯楽・レジャー施設の充実」「⑨観光施設の利用しやすさ」「⑯バスや鉄道などの公共交通機関の利用しやすさ」が該当しています。

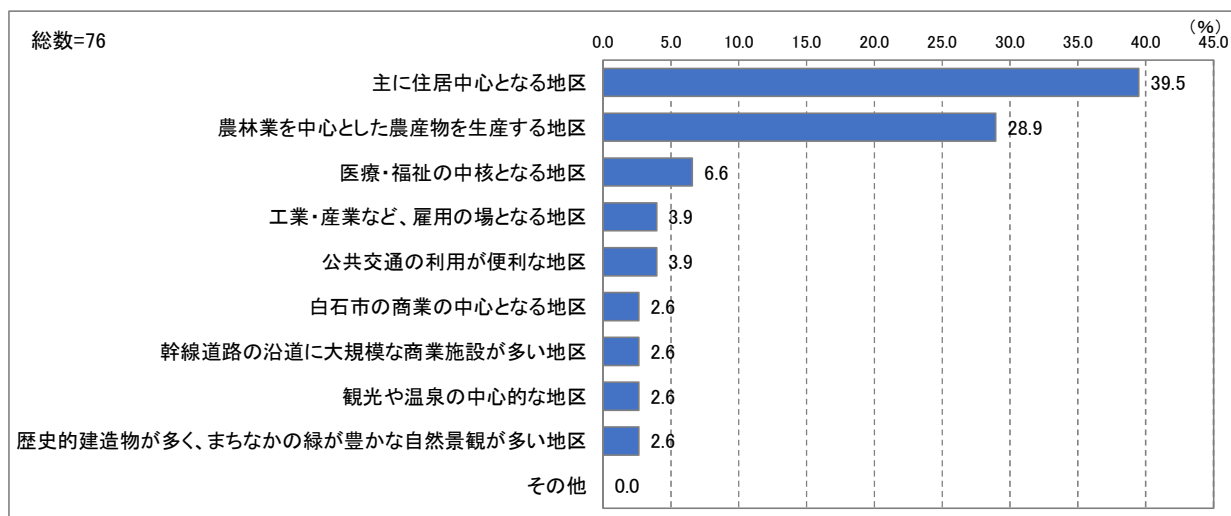
図表 まちづくりの重要度・満足度



	項目		項目
【維持・改善領域】 領域B	⑤まちなかの駐車場の便利さ ⑯河川や水路などの水のきれいさ ⑰市街地のまちなみなどの身近な景観 ⑳山・川・農地などの自然景観や身近な自然環境の美しさ	【現状維持領域】 領域A	②住宅地のまちなみや環境の良さ ③通勤・通学の便利さ ④日常、歩いて買い物ができる便利さ ⑩病院など医療施設の利用しやすさ ⑬移動がスムーズな幹線道路の充実 ⑭身近な道路の安全性 ⑮安心して歩ける歩道 ㉑地震や水害などの自然災害に対する安全性
【改善・見直し領域】 領域D	①新築向けの住宅地の充実 ⑥白石駅周辺の中心商店街の利用しやすさ ⑪保育所など子育て支援施設の利用しやすさ ⑫高齢者などの福祉施設の利用しやすさ ⑰公園の利用しやすさ	【優先改善領域】 領域C	⑦働く場所としての工場・事業所の充実 ⑧娯楽・レジャー施設の充実 ⑨観光施設の利用しやすさ ⑯バスや鉄道などの公共交通機関の利用しやすさ

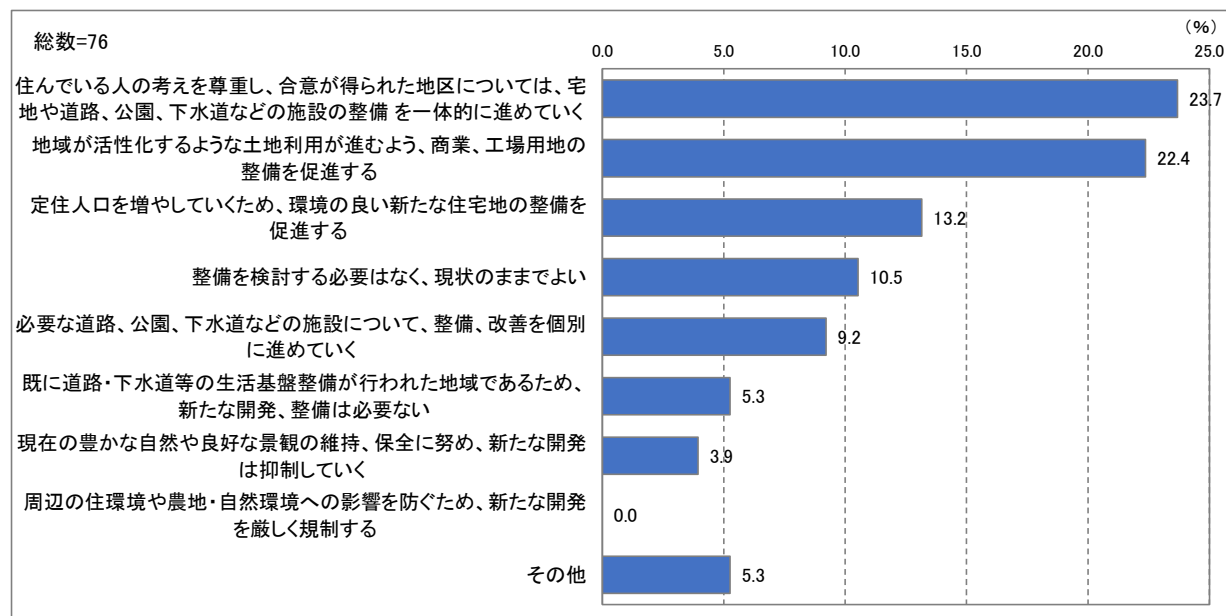
地域の役割は、「主に住居中心となる地区」が最も高くなっており、次いで「農林業を中心とした農産物を生産する地区」となっています。

図表 地域の役割



地域の今後のまちづくりの方向性は、「住んでいる人の考えを尊重し、合意が得られた地区は、宅地や道路、公園、下水道などの施設の整備を一体的に進めていく」が最も高く、次いで「地域が活性化するような土地利用が進むよう、商業、工場用地の整備を促進する」「定住人口を増やしていくため、環境の良い新たな住宅地の整備を促進する」となっています。

図表 地域の今後のまちづくりの方向性



(2) 課題整理図

◆賑わい交流拠点「しろいし SunPark」が立地しています。



◆医療福祉施設が集積していることから、医療福祉の拠点を形成する必要があります。
◆公立川田総合病院への通院手段の充実を図る必要があります。

◆白石 IC 周辺の交通条件、立地ポテンシャルを活かし、地域の活性化を図るための工業系土地利用を維持する必要があります。
◆多くの観光客が利用する白石 IC 周辺を本市の交流の活性化を図るために活用する必要があります。

◆地域資源の活用を図る必要があります。

<地域全体>

◆地域内に白石川、天津沢川、児捨川、大太郎川、平家川の浸水想定区域が指定されています。
◆地域の一部に土砂災害警戒区域が指定されています。

用途地域		
広域幹線道路		■■■■■
主要幹線道路	整備済	■■■■■
	概成済	■■■■■
	未整備	■■■■■
都市幹線道路	整備済	■■■■■
	概成済	■■■■■
	未整備	■■■■■
公園・緑地		■■■■■

5-4-3 地域の将来像

(1) 地域づくりのテーマ

<キーワード>

▽白石 IC ▽東北縦貫自動車道 ▽工業団地 ▽原米
▽献上米がとれる優良農地 ▽医療福祉施設の集積 ▽自然が豊か



<地域づくりのテーマ>

広域交通ポテンシャルを活かした産業・歴史ある農業の活力を創造する地域

(2) 地域のまちづくりの目標

目標1：白石 IC のポテンシャルを活かした地域づくりを目指します。

≪基本方針≫

- ポテンシャルを活かした操業環境の維持
- 白石市の“顔”となる空間の形成

目標2：地域の資源を活かした観光・交流型の地域づくりを目指します。

≪基本方針≫

- 地域資源の活用

目標3：医療福祉拠点の形成を目指します。

≪基本方針≫

- 医療福祉拠点としての機能の向上
- 医療福祉拠点への通院手段の拡充

目標4：自然災害に備えた安全・安心な地域づくりを目指します。

≪基本方針≫

- 自然災害に対応した地域防災力の向上

5-4-4 地域整備の方針

(1) 土地利用の方針 (○：現況、◆課題)

現況特性と課題	整備・保全の方針
<p>◆白石 IC 周辺の交通条件、立地ポテンシャルを活かし、地域の活性化を図るための工業系土地利用を維持する必要があります。</p> <p>○白石 IC 周辺には、住宅地が点在しています。</p>	<p><ポテンシャルを活かした土地利用の誘導></p> <ul style="list-style-type: none"> ・白石 IC 周辺は、立地ポテンシャルを活かし、地域の活性化、市内の雇用の促進のため、周辺環境に配慮した操業環境を維持します。

(2) 施設整備の方針 (○：現況、◆課題)

現況特性と課題	整備・保全の方針
<p>◆地域資源の活用を図る必要があります。</p> <p>○国道 4 号沿道に農商工連携を核とした賑わい交流拠点「しろいし SunPark」が立地しています。</p> <p>○地域資源である鎌先温泉郷と中心市街地は、一般県道南蔵王白石線とつながっています。</p>	<p><地域資源の活用></p> <ul style="list-style-type: none"> ・片倉家御廟所などの地域資源を活用し、本市の観光ネットワークの一翼を担っていきます。 ・「しろいし SunPark」の交流機能を活かし、地域の魅力向上を図ります。 ・一般県道南蔵王白石線は、地域資源への重要なアクセス道路と位置づけ、既存の交通処理機能の維持に努めます。
<p>◆医療福祉施設が集積していることから、医療福祉の拠点を形成する必要があります。</p>	<p><医療福祉拠点としての機能の向上></p> <ul style="list-style-type: none"> ・公立刈田総合病院は、医療福祉拠点と位置づけ、地域の医療施設との連携、医療ネットワークの拡充、福祉施設との連携強化を推進し、医療福祉の拠点・ネットワークの拡充を図ります。
<p>◆公立刈田総合病院への通院手段の充実を図る必要があります。</p>	<p><医療福祉拠点への通院手段の充実></p> <ul style="list-style-type: none"> ・誰もが利用ができるよう、白石市民バスの運営の維持と向上に努めます。

(3) 環境形成などの整備方針 (○：現況、◆課題)

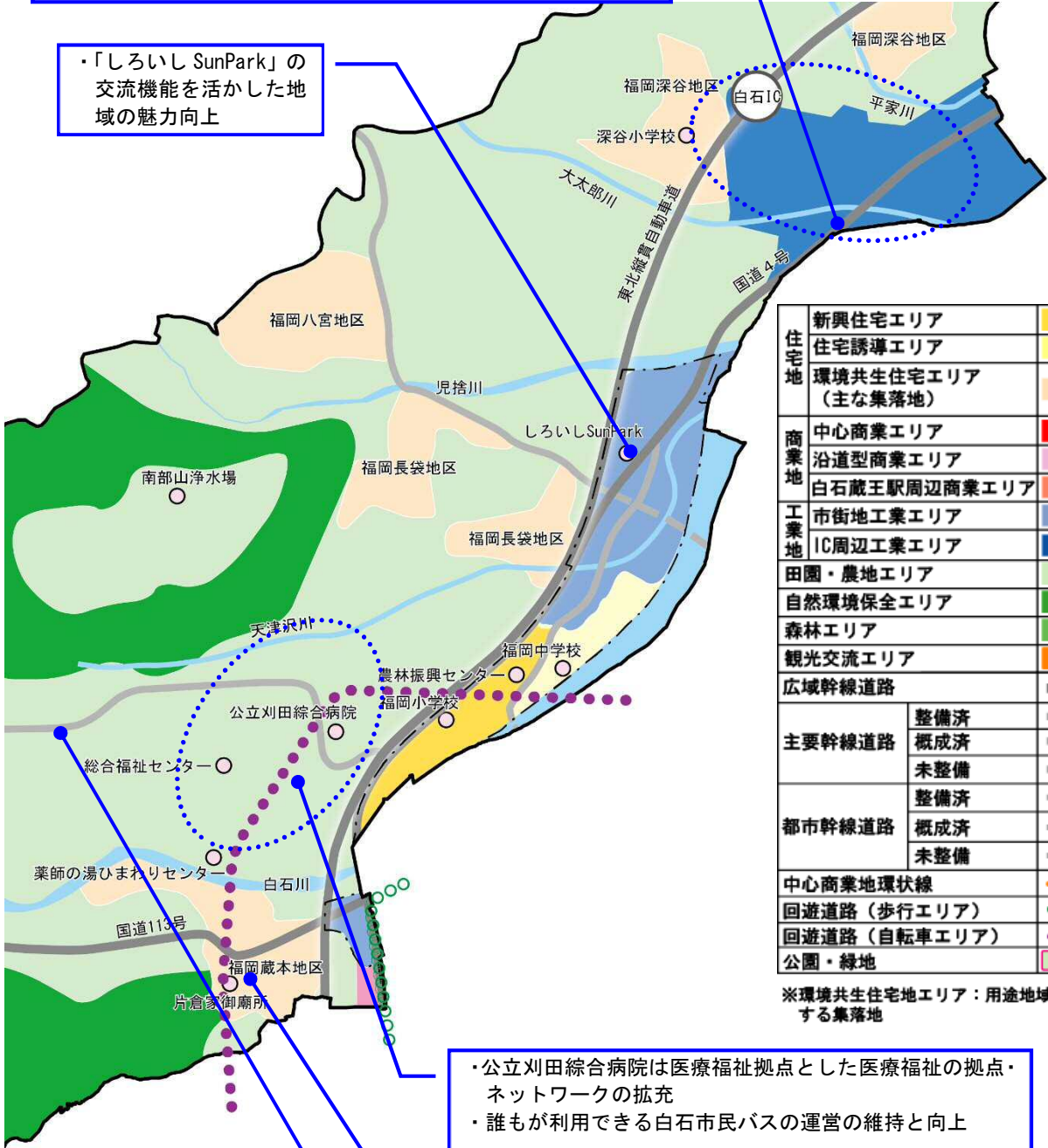
現況特性と課題	整備・保全の方針
<p>○東北縦貫自動車道の白石 IC が設置されています。</p>	<p><白石市の“顔”となる空間の形成></p> <ul style="list-style-type: none"> ・東北縦貫自動車道の白石 IC 周辺は、本市の“顔”にふさわしい景観誘導を図ります。
<p>◆白石 IC 周辺の交通条件、立地ポテンシャルを活かし、地域の活性化を図るための土地利用を維持する必要があります。</p> <p>◆多くの観光客が利用する白石 IC 周辺を本市の交流の活性化を図るために活用する必要があります。</p>	<p><ポテンシャルを活かした土地利用の誘導></p> <ul style="list-style-type: none"> ・白石 IC 周辺の工業地などは、周辺の環境に十分に配慮し、環境負荷の抑制に努めます。 ・多くの観光客が利用する白石 IC 周辺にデザインなどに配慮した観光案内板などのサイン計画を推進します。
<p>○地域内に白石川、天津沢川、兎捨川、大太郎川、平家川の浸水想定区域が指定されています。</p> <p>○地域の一部に土砂災害警戒区域が指定されています。</p>	<p><地域防災力の向上></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織の育成やハザードマップの周知と有効的活用を推進し、地域の防災力向上を図ります。

(4) 地域整備の方針図

- ・白石 IC 周辺の立地ポテンシャルを活かし、周辺環境に配慮した操業環境の維持
- ・白石 IC 周辺の本市の“顔”にふさわしい景観誘導
- ・白石 IC 周辺のデザインなどに配慮した観光案内板などのサイン計画の推進

- ・「しろいし SunPark」の交流機能を活かした地域の魅力向上

- <地域全体>
- ・自主防災組織の育成やハザードマップの活用による地域の防災力向上



住宅地	新興住宅エリア	
	住宅誘導エリア	
	環境共生住宅エリア (主な集落地)	
商業地	中心商業エリア	
	沿道型商業エリア	
	白石蔵王駅周辺商業エリア	
工業地	市街地工業エリア	
	IC周辺工業エリア	
田園・農地エリア		
自然環境保全エリア		
森林エリア		
観光交流エリア		
広域幹線道路		
主要幹線道路	整備済	
	概成済	
	未整備	
都市幹線道路	整備済	
	概成済	
	未整備	
中心商業地環状線		
回遊道路 (歩行エリア)		
回遊道路 (自転車エリア)		
公園・緑地		

※環境共生住宅地エリア：用途地域外に点在する集落地

- ・公立刈田総合病院は医療福祉拠点とした医療福祉の拠点・ネットワークの拡充
- ・誰もが利用できる白石市民バスの運営の維持と向上

- ・片倉家御廟所などの地域資源の活用

- ・一般県道南蔵王白石線の地域資源への重要なアクセス道路としての交通処理機能の維持